

# グリーンたいむ

2022年4月18日 週

vol.

254



発行: グリーンコープ生活協同組合くまもと <http://greencoop-kumamoto.jp/>

## 夢ヲかたちに

2地域本部制スタートにあたり  
理事長と専務理事よりメッセージをお届けします。

くまもとは、新たな一歩を歩みだしました



先月の「グリーンたいむ」でご案内いたしましたのが、4月よりグリーンコープ生協くまもとは西地域本部（元県北地域本部・元県央西地域本部・元県南地域本部）と東地域本部（元県央東地域本部）の2地域本部制が始まり、新たな一歩を歩みだしました。また、配送センター毎の委員会（地域委員会）を設置し、これまで以上に、より地域に寄り添った活動を目指していきます。そこに住んでいる人や地域性にもなうニーズや地域の課題などを捉え、地域理事会（夢ヲかたちに理事会）にて組合員・ワーカーズ・職員とともに夢を語り合い、地域福祉を検討し、すすめていきます。

取り組みの案内が届きました際には、ぜひ、ご参加いただき、活動組合員に組合員の声をお届けください。そして、地域がより豊かになるように、ともに活動をしていくメンバーになっていただけたら嬉しく思います。

グリーンコープ生協くまもと 理事長 小林 香織

グリーンコープ運動を更に前進できるよう連携



2022年度より組合員組織の再編により4地域本部制から、2地域本部制へ変わりました。ともなつて、ワーカーズ・職員も、組合員がより地域に寄り添い、グリーンコープ運動を更に前進できるように連携を強化していきます。

これまで、仲間づくりや商品の利用普及などをすすめる時に、組合員・ワーカーズ・職員の力を結集することができず、それぞれの立場やそれぞれのやり方で物事をすすめることが多かったように感じています。例えば、産直びん牛乳の利用普及を頑張る場面でも、委員会が作成したびん牛乳のチラシを、理事会での確認を経てカタログと一緒に皆さんに配布する取り組みと、ワーカーズ・職員が、びん牛乳の利用を組合員へ呼びかける時期とが連動せず、同じ「びん牛乳を組合員へ広めていこう！そのことで生産者を守ろう！」という想いが、きちんと活かせていないという現実がありました。

そこで、今回の2地域化の中で「地域委員会」という機関会議を立ち上げる運びとなっています。そこには、組合員・ワーカーズ・職員それぞれの代表が集結し、仲間づくりや商品の利用普及、地域の課題などについて「どうやったらできるのか」を皆で相談し、決定し、取り組んでいきます。このことが、必ずより良いグリーンコープ生協くまもとをつくることに繋がっていくと信じています。

グリーンコープ生協くまもと 専務理事 上村 猛

もくじ

1: 理事長・専務理事よりあいさつ / 2~3: 熊本物流センター紹介 / 4~5: 2021年度 青果・米産地「産直交流活動協議会」報告 / 6: 2022年度 地域組合員総会を開催しました / 7: 災害支援活動報告 / 8: 2021年度 福祉活動組合員基金助成団体報告会報告、カタログGREEN回収率報告、おたより募集、編集者だより

# 熊本物流センター

私たち組合員が注文した商品の個人仕分けを行う物流センターは、オールグリーンコープのエリア内に4ヶ所あります。そのひとつ、「熊本物流センター」が、熊本市東区弓削にあった旧物流センターの老朽化と、業務拡大にともない、2021年9月に熊本県菊池郡菊陽町辛川へ移転しました。

くまもと、かごしま、おおいた、みやざき（一部、ふくおか）のグリーンコープ商品の個人仕分けをしています。基本的に在庫を持たないシステムとなっており、常温品・冷凍品・冷蔵品・青果など、1週間あたり約60万点の商品の仕分けを、126人のスタッフで行っています。これまで全て手作業だった商品の仕分けですが、新センターでは、仕分け用のバスケットが自動で流れ、袋も機械でセットするようになりました。さらに、冷凍品・冷蔵品は機械で口を閉じていきます。冷凍品・冷蔵品以外の商品は持ち運びしやすいように袋の口をしっかり結びます。その後、バーコード付きの名前シールを貼り、機械で読み取りチェックしています。「袋と袋」の仕分け袋回収において、シールが結び目に付いているのできれいに取るのが難しいというご意見をいただきましたが、シールは剥がすのではなく、袋ごとハサミで切り取ってください。少しご不便をおかけするかもしれませんが、資源の有効活用のため、仕分け袋回収にご協力いただきたいと思えます。

センター長 河添 文彦さん



2月18日(金)に取材しました♪



グリーンコープ生活協同組合連合会 熊本物流センター

仕分け点数 約600,000点/週  
建物面積 4,425坪 人員 213人



屋上のソーラーパネル



保冷箱専用の洗浄機

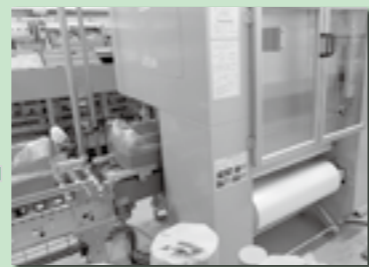


広々とした休憩室。託児室では、子育て支援ワークショップによる託児も。



ドライコンテナは手洗いで綺麗に。

## ドライ（常温品）仕分けライン



自動袋セット機



袋がセットされた仕分け用バスケットに商品を入れていきます。

## 仕分けを待つ商品が並ぶバックヤード



仕分け効率をアップするための、ジャングルカートと呼ばれるラック→

ライン毎に、スタッフ18~23人ずつの5班で仕分けを行います。2階のドライ（常温品）商品仕分けラインでは、ライン上のバスケットに商品を入れ、袋の口を結び、名前シールを貼り、ドライコンテナに詰め、運搬用のカーゴ車に積むところまでを行います。

商品が整然と並ぶ棚の前に並んだスタッフは、入れる商品のランプが点灯すると、バスケットに表示された情報を確認しながら、商品を入れていきます。袋の口を結んだら結び目にバーコード付きの名前シールを貼ります。これは、最後に機械で読み取り、シールの貼り間違えがないかきちんとチェックするために大切な行程です。また、バスケットに入れる様子を撮影して動画を保存し、毎週、センターからの報告をもとに映像チェックをしています。

冷蔵品と青果は、配達前日に仕分けを行います。特に青果は、早朝に産地から集荷し、昼間と夜間に仕分けをしています。

以前は手洗いだった保冷箱の自動洗浄機が導入され、水を循環させて节水しながら保冷箱をきれいにしている様子を見せてもらいました。残念なことに、保冷箱は毎週約600箱が廃棄されているそうです。組合員みんなの財産です。大切に使いましょう。

## 冷凍品・冷蔵品仕分けライン

袋は手で結ぶのではなく機械で閉じます。



バーコード読み取りによるチェック

保冷箱の中へ

## 仕分け袋は回収してリサイクル！



名前シールは剥がすとシールの糊が残るので、剥がさずにハサミで切り取って、袋のみ返してください。



組合員へ

配達トラック



各センター

配達順にカーゴ車に載せて各センターへ運びます。



仕分けした袋を個人毎にコンテナにまとめます。



機械がバーコードの情報を読み取ります。



名前シールを貼っていきます。



仕分け済みの袋の口を結びます。




# 2021年度 青果・米産地「産直交流活動協議会」報告

グリーンコープの青果や米を栽培されている熊本県内の産直生産者と組合員との間で、毎年、産直交流を行っています。これは、「顔の見える関係」を大切にしているグリーンコープならではの取り組みです。そして、年度末に生産者と組合員が集まり、1年を振り返っての産地の様子や交流活動について共有したり、次年度の産直交流内容について相談を行ったりしています。


2021年度はオンラインにて、1月31日(月)に開催しました。

産地の様子について生産者は、異口同音に「降れば長雨で記録的な雨量、晴れば高温障害」「まるで3回の梅雨。弱り目に祟り目のように雨にやられた」「害虫で全滅した作物があった」と話されました。しかし、「自然環境に負けないように、栽培のレベルを上げていく」「大雨でも復活する技術を開発していく」「いろいろなことを試してみる。成功したら共有する」と頼もしい言葉も多々ありました。2021年度、くまもとの組合員と交流した青果・米の産直産地と、主な出荷品目を紹介します。


**熊本県愛農会野菜部** (上益城郡御船町)・・・かぶ、玉ねぎ、メークイン、人参、里芋、にんにく、グリーンソリーフ、つくね芋




**(農)佐伊津有機農法研究会** (天草市佐伊津町)・・・キャベツ、チンゲンサイ、さつまいも(赤系)、丸オクラ、角オクラ、きゅうり、河内晩柑




**清和有農会** (上益城郡山都町)・・・キャベツ、小松菜、ピーマン、ブロッコリー、トマト




**風鈴会** (上益城郡山都町)・・・トマト、大根、キャベツ、グリーンボール、ベビーリーフ、ミニトマト




**産直なごみ** (玉名郡和水町)・・・トマト、ミニトマト、ミディトマト、アイコ、ごぼう、きゅうり、なす、メロン




**肥後七草会** (宇城市松橋町)・・・トマト、ブロッコリー、キャベツ、スイートコーン、大根、白菜、いちご、中晩柑



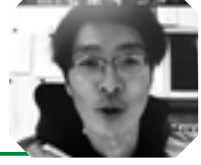
**御岳会** (上益城郡山都町)・・・里芋、玉ねぎ、レタス、サニーレタス、小松菜、チンゲンサイ、グリーンソリーフ、みょうが




**(有)やまびこ会** (宇城市松橋町)・・・れんこん、グリーンアスパラガス、白菜、にんにく、しょうが、中晩柑(伊予柑、はっさく)




**(株)阿蘇小国郷** (阿蘇郡小国町)・・・大根類、ほうれん草、小松菜、春菊、トマト、スナップえんどう、ミニパプリカ、小さなかぼちゃ、なす、かぶ、里芋



**南阿蘇ファーマーズ** (阿蘇郡西原村)・・・ピーマン、トマト、ミニトマト、ミディトマト、アイコ、いちご




**ゆらぎ倶楽部** (熊本市北区植木町)・・・トマト、きゅうり




**(株)肥後やまと** (上益城郡山都町)・・・ベビーリーフ、白ねぎ、ミニパプリカ、菊芋、栗




**J A 阿蘇阿蘇町** [赤とんぼ米生産部会] (阿蘇市)・・・赤とんぼA・B・C (こしひかり)




**J A 阿蘇小国郷** [赤とんぼ米生産部会] (阿蘇郡小国町)・・・赤とんぼA・B (あきげしき)




**J A 上益城清和** [有機米生産部会] (上益城郡山都町)・・・赤とんぼA・B (こしひかり)、赤とんぼA・B (ひのひかり)、赤とんぼA・B (あきげしき)




**J A 上益城矢部** [有機農業研究会] (上益城郡山都町)・・・赤とんぼA (こしひかり)、赤とんぼ有機栽培・A・B・C (ひのひかり)



**ライスファーム菊池** (菊池市)・・・赤とんぼ有機栽培 (ひのひかり)



**MOA自然農法湯前普及会** (球磨郡多良木町)・・・赤とんぼ有機栽培 (ひのひかり)



くまもとの組合員の産直交流活動について、2021年度は、コロナ禍の影響を受ける中、さまざまな工夫が見られました。産地に出向けなくなった際には、オンライン (Zoom) を活用した料理交流会や学習会などに切り替え、柔軟に対応しました。閉会のあいさつで、株元県央東地域理事長が「Zoom

を用いて報告を聞いたのは良かったが、その産地の風景やその時の気温、土地の匂いなど、実際に会うことには敵わない。たださえ自然相手の大変なお仕事なのに、いつも安心・安全な作物を作っていたいただき感謝している」と述べました。画像は、当日の資料から抜粋して掲載しています。

**本部** 11月4日(木)/阿蘇小国郷/10人参加/里芋、大根、かぶの収穫と、産直大根を使った加工品の製造過程の視察。




**県央東** ゆらぎ倶楽部、風鈴会、肥後やまと、J A 阿蘇阿蘇町




**県央西** 佐伊津有機農研、清和有農会、御岳会、J A 上益城清和




**県北** 愛農会、J A 阿蘇小国郷、ライスファーム菊池



**県南** 産直なごみ、やまびこ会、J A 上益城矢部



**ワーカーズ** 11月6日(土)/肥後七草会/35人参加/雨天の中、みかんの収穫と交流会。福祉系と生協系のワーカーと一緒に取り組んだ。



グリーンコープの「産直」は、「生産者と組合員が『顔の見える関係』で、お互いの信頼の上に立ち、生産者にとっては農業が安定して続けられ、組合員にとっては安心して生産物が購入でき、共に農業を守る立場で提携すること」。具体的には、【①その農産物を誰が作っているのか明らかである。②その生産物がどのような栽培になっているか明らかである。③生産者とグリーンコープ(組合員ならびに事務局)との交流ができる。④生産者の側から見ても産直提携が実感できる。】ということ。そして、長年にわたった取り組みの成果として、現在のようにどこにもない独自の「産直」を作り上げてきたんだよ。



# 災害支援活動報告



2016年4月の熊本地震以来、昨今、自然災害に見舞われることが多くなっています。グリーンコープでは、災害支援センターを立ち上げるなどして、被災者に寄り添った支援活動を行っています。組合員からのカンパ金を基に行っているさまざまな支援は、地元の方々にとって、なくてはならないものとなっています。くまもとでの支援の様子をお伝えします。

## 熊本地震

熊本地震発生からこの4月で6年が経過します。災害支援センターの活動は、ここ数年の被災地支援から、被災者に寄り添った生活支援に重きを置き、日々活動を続けています。

### 「いくばい！ふれあい 元気カー」による買い物支援

現在、益城町を中心に19ヶ所伺っています。単にお買い物だけでなく、お客さん同士の交流の場であったり、見守り訪問をしたりと、週1回の移動販売を楽しみにされている方が大勢いらっしゃいます。



### 在宅被災者支援

熊本地震で被災された方々や、地震後に炊き出しや家屋の片付けで知り合った方々と、年に数回交流をしています。今では皆さんすっかり顔なじみに生まれ、会うと毎回、楽しくお話をされています。

### 地域支援

支援活動を通じて知り合った地域の方と、食事会・朝市・餅つきなど、さまざまなイベントで交流をしています。交流活動を通じ、人とのふれあいや地域の繋がりを実感してもらえるように、今後も継続していきたいと思えます。

コロナ禍で活動もかなり制限されますが、これからもできる限り被災者の方々に寄り添い、支援活動を続けていきたいと思えます。

熊本地震災害支援センター 岩村 純一



## 「令和2年7月豪雨」

豪雨水害から早いもので1年9ヶ月が経ちました。現在の人吉球磨は、多くの建物が解体されて更地になり、やけに空が広く見えるようになっています。そんな人吉球磨で、私たち「ヒトハレ」は、発災直後からグリーンコープの厚いサポートをいただき、災害支援活動を行い、キープ&ショップ業務のかたわら、現在も継続しています。

現在の主な活動は「元気カー」による移動販売です。2020年8月から始めた移動販売は、住民の方々にすっかり根付き「これじゃないと！」と嬉しそうに買われるファン客も増えてきました。そして、週に1度の「元気カー」の時間にスタッフと会話をしたり、買い物に集まったご近所さんと井戸端会議をしたり。水害で大きな喪失感を味わった方たちにとっては、そんなコミュニケーションがとても貴重なのだと感じます。災害直後の泥かきや片付けとは違う、内面的なサポートがこれからは必要となってきます。できることをできるだけ、これからも続けていきたいと思っています。



3月30日の様子



3月4日の様子

ワーカーズ・コレクティブ ヒトハレ 代表 御蘭 豊子

# 2022年度 地域組合員総会を開催しました

2月7日(月)～3月4日(金) 全34地区で開催

地域組合員総会は、「出資・利用・運営」という組合員としての権利を行使できる場でもあります。

2022年度はコロナ禍で、書面議決やオンラインによる開催など、各地区で工夫を凝らして開催しました。2021年度の地区活動報告、会計中間決算報告、中間監査報告、事業報告、2022年度の地区活動方針と予算を議案書に沿って提案し、それぞれの議案は承認されました。また、地域総代選出、地区運営委員選出が行われ、2022年度のスタートを切る場となりました。

## 県北地域本部



全地区が書面議決としたため、玉名南地区委員長 松田美智子さんより寄稿いただきました。

2022年度の地域組合員総会は、2021年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止のため、県北地域本部では全地区中止にし、書面での確認をお願いしました。本来ならば対面での報告で、質疑応答も入り、組合員の生の声が聞ける地域組合員総会です。しかし、「このように書面で報告する形にはなるけれど、全組合員の方に地区の1年間の報告ができる！」と考え、各地区会計報告の所など工夫し、見やすいように、より内容が分かりやすいように作成しました。コロナ禍で活動は制限されていますが、これからもオンラインなどを取り入れ、地区だよりなどで情報を発信し、今できることを第1に考え、活動に取り組んでいきたいと思えます。

## 健軍・桜木地区 (県中央地域本部)



2月22日(火) 開催  
組合員数 1,488人  
実出席者 15人  
委任状提出 953人

議案審議に関連して桜木店店長の宮本光代さんより、桜木店が6月で29年を迎えることや、10月のリニューアルについて案内されました。地区運営委員と協力しながら店舗運営ができていくことに対して、感謝の言葉が伝えられました。交流の部では、参加者から「コロナ禍で、みんな一緒に取り組むことができなかったが、2022年度は桜木店のリニューアルも控えているので、ぜひ、イベントを盛り上げたい」「地区の活動へ久しぶりに戻ってきた。みんなで地域を盛り上げていきたい」「さまざまな活動をしていることがわかって良かった」などの感想が出されました。(オンライン開催)

## 金峰地区 (県中央西地域本部)

金峰地区  
委員長として  
選出された  
太田和沙さん



2月16日(水) 開催  
組合員数 1,529人  
実出席者 9人  
委任状提出 920人

コロナ禍のため、オンラインにて開催しました。2021年度は、地区運営委員不在のスタートでしたが、9月から1人が委員になり、やっと地区活動に取り組むことができました。今回の地域組合員総会では、地域総代10人の承認に加えて、地区委員長として太田和沙さんを選出することができました。コロナ禍が落ち着くにはまだ時間がかかりそうですが、委員を増やす取り組みを開催し、地区を盛り上げていくことを確認しました。交流の部では、金峰地区の組合員でもある(株)山一さんによる「お出汁教室」を行いました。

## 八代北地区 (県南地域本部)



2月15日(火) 開催  
組合員数 1,236人  
実出席者 9人  
委任状提出 845人

予定していた交流の部「松合食品(株)学習会」を中止し、「審議検討の部」のみ会場で開催することにしました。小雨がぱらつく肌寒い朝でしたが、会場に参加者が来場すると、終始なごやかな雰囲気、再会を喜び合う笑顔が見られました。地区委員長の木村洋美さんは、「書面議決にするか悩んだ末、お会いしてお話しすることを大切にしたいと思い開催しました」と挨拶。地区内にある2ヶ所の「令和2年7月豪雨」災害仮設住宅での支援活動など、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、できることに取り組んだ様子を報告しました。



# 2021年度 福祉活動組合員基金助成団体報告会

～あなたからの大切な100円で  
身近な人のシアワセ（福祉）を～

福祉活動組合員基金は、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」「住んでる街を住みたい街に」を目指し、組合員が拠出した100円を財源に、グリーンコープの地域福祉活動と、地域で組合員が取り組んでいる活動に助成しています。

2021年度 福祉活動組合員基金は、地域の9団体と、グリーンコープ生協くまもと理事会・社会福祉法人グリーンコープ・ワーカーズ関係13団体の合わせて22団体へ助成され、2月28日(月)に各助成団体による報告会がオンライン(Zoom)にて開催されました。(助成団体および、報告会への参加を申し込まれた組合員の総参加者数132人)

下記に記載の地域団体からは、助成金の具体的な使い方などを画面で報告され、助成により有意義な活動ができていることへの感謝の気持ちが述べられました。

## 助成を受けた地域団体

- ◇一般社団法人 なんかん未来創造とっば隊 (玉名郡南関町)
- ◇フリースクール 森の自分学校 (山鹿市上内田)
- ◇NPO法人 ガット (熊本市西区)
- ◇くまもと転入ママの会 くまてん (熊本市)
- ◇放課後等デイサービス さくらんぼ (菊池郡大津町)
- ◇特定非営利活動法人 人権NPOちなもい (八代市上日置町)
- ◇(天草子どもアートプロジェクト) コドラボ劇団 (天草市楠浦町)
- ◇特定非営利活動法人 NPOくまもと未来 (熊本市東区)
- ◇こどものゆめまもる基金 (熊本市中央区)



各団体からの報告の後、基金運用委員会委員長の入江真里子さんから「自助・公助・共助という、本来であれば行政がするようなことの隙間を埋める活動に感銘を受けた。皆さんの力に頼り、私たちができることがあれば、手を出し、口を出していきたい」と閉会のあいさつがあり、報告会を終了しました。



基金運用委員会委員長 入江さん

グリーンコープ生協くまもと  
カタログ回収率

**2月分**  
**48.5%**

回収した  
カタログの重さ  
**36,530kg**

6ロール入り  
トイレットペーパー  
**12,176袋分**

とんとんカタログを出しましょう

## おたより募集

グリーンたいむでは、組合員の声を大切にした紙面づくりを心がけています。おたよりの内容はグリーンコープに関する事なら、何でもOK。お名前と連絡先(電話番号)と、所属の地区名または所属センターを明記の上、下記住所「本部組合員事務局」宛にお送りください。文字数は200字以内。ペンネームも可。掲載者には、いちおしのグリーンコープ商品を進呈しますよ。

みなさんからのおたより 待ってまーす!



編集者だよ! とは「春暁」て? の言。1月号の当欄を読んだの初見感想だ。「冒頭の「春暁を覚えず」が有名な漢詩」と答えると、「格言だと思ってた」とな。アラサーの息子も驚くほどのものを知らない。まだ彼が学生だった時に家族旅行をした際、熊本駅の往來で切符を手渡したから、行き先を知らなかった彼は「ししゅく?」と怪訝そうな声を出した。「いぶすきじゃ!」と耳目を集めるほどの大声で突っ込んでしまったことがある。あれから少しは成長したんだろうか。(磯川)

## 発行 グリーンコープ生活協同組合くまもと

発行責任/理事会  
編集/広報室  
発行所/〒860-0056  
熊本市西区新土原2丁目1-1  
☎ 096-324-8118(代)  
FAX 096-324-8123  
印刷所/ホープ印刷(株)

■県北地域本部 12,950名  
■県央東地域本部 26,888名  
■県央西地域本部 17,664名  
■県南地域本部 7,542名  
合計 65,044名  
(3月25日現在店舗組合員を含む)

## もしもし電話コーナー

お金の問題で困っていませんか? まずはお電話下さい <b>生活再生相談室</b> ☎096-243-2100	開設曜日…月曜～金曜 第3週は月曜～土曜 開設時間…9時30分～18時
<b>ふくし情報でんわ</b> ☎0120-540-294	開設曜日…月曜～金曜(祝日は休み) 開設時間…10時～16時 携帯電話の方は096-337-7226
<b>グリーンコープ 葬祭サービス</b> 24時間受付・年中無休 ☎0120-222-782	「自然庵」との協働事業です。葬儀だけではなく、相続問題やお墓、供養、法事についての相談なども受け付けています。
<b>GREEN</b> くらしアップ情報誌「くまもと」 ☎0120-51-8141	自動車学校、引越しなど、お気軽にお問い合わせください。 受付時間…9時～17時30分

グリーンコープ生協くまもとのホームページ (<http://greencoop-kumamoto.jp/>) に最新情報更新中!  
ぜひアクセスしてください。携帯電話は、こちらのQRコードよりアクセスできます。➡

